京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所　京城新報社

預金利下の機運

▲金融は依然緩漫　今春來金融は漸次緩漫に陷り日本銀行は本年に入り既に二回の引下げを斷行し東京の他銀行に於ても定期預金を五分に當座預金利子を日歩一錢に改めたるも外資の輸入國債の償還等の爲めに益々金融緩漫の度を增し大藏省證券は去八月以降一錢一厘に下り尋で去月二十五日を以て借換發行せられたる新證券二千万圓は更に一厘方引下げ日歩一錢と爲したるに拘はらず即日賣り切れの好况を告げ金融緩漫の狀は彼の二十六年の當時に比し大差なき有樣にして目下コールは六厘商業手形の第一流とも見るべきものは割引日歩一錢一、二厘にして最早や預金利子と貸付利子との鞘は殆ど之なきに至りたり若しも此儘に從來の預金利子を繼續せんか資金は高歩長期の貸付に固定するに至るは免る可からざるの成行なりと云はざるを得ず

▲利下げの機運　左れば二三箇月前より預金利子の引下げに關し東京の大銀行度々協議を凝したるに大體に於ては反對なきも唯引下げの時期に就き多少の議論もありて未だ協議は纏らざるも昨今金融は一層緩漫となり年末に至るも著しき需用を喚起すべしとも思はれざるのみか新春に入りては更に緩漫を告ぐるは例年の例にして一方新事業は不幸にして未だ起るべしとも豫想するを得ざるを以て三井銀行にては已むを得ず他との協定を待たず利下げを斷行するに決したる折柄他の銀行にても三井銀行と同一の意見を有し此際利下げの擧に出づるを適當と認むるものあるを以て三井銀行と是等の銀行とは改めて協議の上利率及び期日を決定す可き形勢なるは別項所報の如し

地方通信

釜山通信

▲運賃の割引　鐵道廳にては從來長距離貨物輸送に對しては賃銀を割引したるが釜山より各沿線に輸送する貨物賃金は割高となり從つて通過貨物は増加し中繼貨物減少するの傾向を來したるに依り釜山商業會議所に於ては仁川に敷び清酒醬油等の貨物に對して特別割引法を實行したるが其他の貨物に對しても今後極力盡力する事に決定すと

▲陳列館改修　豫て噂のありし釜山商業會議所附屬商品陳列館改善の件は愈々今月中に工事に着手し明年二月末日迄には竣成すべく豫算は二千五百餘圓にして二階に日本内地の農商工品を陳列し三階には韓國の農商工及び水産品を陳列する筈なり

▲水産物陳列　朝鮮海水産組合にては釜山商業會議所附屬商品陳列館改善着手と共に同館三階の北面半部を借用して韓國十三道の水産物を蒐集して之を九部に分類して陳列し一見其分布を明かに知らしめ尚重要水産物には特に其經濟的關係を詳細掲示し以て一瞥直に來觀者をして其智識を與へしめ得るやうに晩くとも今年内より陳列に着手する筈なり（釜山通信員）

和歌募集

勅題「新年雪」

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日　本社編輯局

平壌通信

▲市場監税人　平南、平北、黄海三道に於ける市場數は總計百八十五個所ありて内平南道は六十六個所、平北道は三十九個所、黄海道は八十個所なるが地方費の實施に伴ひ前記各市場に設けらるべき市場管理人は已に九分通り確定せりと

▲燃料の暴騰　昨今結氷期に入つたる爲めに薪、松葉は川上よりの輸送の途絶ね相場は漸次昂騰しつゝあるが木炭は山の外南川、與水院、新幕附近より鐵道便にて輸入せらるゝを以て格別の影響を見ず尤も川上地方の外南川の如きは薪の産出地なるも鐵道輸送に依るときは運賃高くして自然價格も高價となるにより引合はず而して目下の相場は松葉一把八錢より十一二錢、薪松は一貫四錢、堅木同四錢五厘、木炭堅は一貫八錢五厘、根炭同十錢にして何れも腰強にして尚漸次昂騰するの傾きを呈せり

▲大同江結氷　大同江は去る十日夜半の激烈なる寒氣と共に氷層益々厚くなり大同門附近の河身は十日早朝より日韓人の荷物を背負ひて已に三々五々氷上を通行するを見受けたり尤も牛馬の通過は尚ほ危險なりと

▲大豆作成績　勸業模範場平壌出張所に於ける今年の大豆耕作の成蹟は夏期降雨多かりし爲め幾分氣遣はれしも昨年に比して成蹟良く品質收量共に優り居り又海州種苗場に於ては生育中虫害を受けたるため前年よりは收穫少なく義州種苗場にての成蹟は開花後降雨多かりし爲め生育を妨げられたれば例年に比して成蹟不良なるが概して平壌を中心としての附近地方は昨年に比して大差なく先つ平年作位なりと云ふ

▲遊廓の移轉　平壌遊廓の移轉に就ては從來の一問題たりしが愈々去る一日を以て市街地より十町餘大同江畔に移轉して面目を一新せり（平壌通信員）





第五十五席

伯山改　田松鯉神口演

喜平次はカラ／＼と笑つて　喜「成程怪物は強く物を汲ち力を持つて居るかも知れんけれども、拙者のは傍へ往つて怪物を斬るのではない、遙か此方に隱れて居て、石を拾つて怪物へ投付ければ一週で怪物の腦天を破つてやる、拙者の石は八町以内なら百發百中一發も誤まつたことはない、デ、明夜拙者は石を持つて怪物を打殺して呉れやう」藤「左樣でございますか、デはまア恐れ入りますが、やつて御覧なすつて下さいまし」さて翌日になると村の祭禮で大層賑はひます、彼の男二人女二人の四人の子供を村の若い者が駕籠へ乗せて川邊へ連れ往く、大勢鉦や大鼓で送つて往きます、四人の子供は駕籠の中でヒー／＼泣いて居る、喜平次は手頃の石を十個許り袋へ入れて腰へ下げ、やがて川邊に來つて、彼の椎の木の傍に子供四人と共に今や怪物が來るかと水の表を睨んで待つて居る、夜が段々と更けて往く、祭禮の太鼓の音も絶へて遙かに聞ゆるのは夜廻りの拍子木の音、其のうちにソヨ／＼と醒い風が吹くかと思ふとボガリ眞つ黒なものが水の上へ浮んだ、喜平次は月影に透して見ると丸く二つ光つて居る者は眼に相違ないと思つたから突如袋の中から取出した石をば覘いを定めてビシャーリ腦天と思ふところへ投げた、大力の喜平次のことだから、石は刎返らずに怪物の腦天へメリ／＼とメリ込んだサッと黒血が飛ぶ、引續き二發、三發、四發、五發、六發、七發、八發、九發、十發と續けさまに打纜けられた礫は悉く怪物の身體へ喰込んで、怪物は水中深く沈む暇もなく、水柱をば幾本となく立たして遂に水中で苦て死んでしまつた、直ぐに喜平次は四人の子供を連れて村へ歸へる、村の者は大に悦び、翌朝川邊へ往つて見ると長さ二丈もあらうと思はれる位の眞つ黒の鯰のやうな蛙のやうな一種不思議な形をして怪物が死んで浮いて居ました「是れで村の祟をする怪物を退治して下すつた」と云ふので一同喜平次を神の如くに敬ひ、是れより喜平次が實を明して村人に大島へ渡りたいと云ふことを依頼をした、村民もさう云ふことなら御領主樣へは内々で大島へ御渡し申しませうと、屈強の漁夫八九人が漁船へ白縫主從を乗せまして大島指して漕出でた、固より遠州灘で荒い浪の上を平氣で漕ぐ漁夫のことであるから、難なく大島へ到着して、白縫主從は島の者等に尋ねて爲朝の館跡へ來る、四人は暗涙にむせび、彼の梅花堂の話しましたる如く、後庭とも覺しき所に大きな石がある、其處を堀つて見ると爲朝の屍が出ましたから涙ながらに是れを掘出だし隱を拾つて火を放けて屍を燒きまして其骨を懐に納めて、再び舟にて絵島村へ立返り、其後此の白縫主從四人は何れへ往かれましたか往方が分りません、一説には京都の嵯峨の山奥へ爲朝の骨を埋め白縫姫は小さな庵を結んで尼となり、七十歳にて亡くなつたとも云へます、又喜平次夫婦は又豊後の山奥へ白縫と共に隱れたとも言ひます、御曹司爲朝は大島で自殺はしない、一旦八丈島へ逃れて琉球へ往かれたとも言ひます、喜平次も其の時伴をして琉球へ渡つたとも申しますが馬琴翁の弓張月ではさうなつて居ります、何れにしても古今武双の豪傑、八郎爲朝の正史に見ねて居る傳記は大島で自殺をされたとなつて居ります、先づ本講談も是れにて結局と致します、（御退屈樣　大尾）

豫告

讀者諸君の好評を博したる講談「鎮西八郎」は愈々本日を以て大團圓を告んとす、されば續いて連載するものは邑井一講談に係る

日本銘刀傳

にして我國知名の刀鍛冶多數の傳記を讀みたるもの波瀾頗る多く悲嬉交々至り蓋し近來の好讀物たるを失はず讀者請ふ今後の紙上に俟て

東京電報

▲一進會長の衷情

一進會長李容九氏は本日神田錦輝館に於ける朝鮮問題同志會の大演說會に對し長文の電報を寄せ衷情を訴へたり同志會にては合邦論に關係せる小策士連とは何等關係聯絡なき旨を公衆に向つて聲明したり（十三日夜着）

▲兩陛下へ御對顏

皇太子殿下には一條侍從長を随へられ宮中に御參內兩陛下へ御對顏せり種々御物語あらせられたり（十四日）

▲伊藤公五十日祭 本日伊藤公爵國葬終了日に付大森恩賜館に於て靈前祭擧行多數參拜せり（同上）

▲產業組合の大會 產業組合中央會設立總會昨十三日農商務省に開會定款の規定其他會頭に平田內相、副會頭に小松原文相及加納子爵當選したり（同上）

▲全國電話加入者 遞信省最近の調査に依れば日本全國の電話加入數は七萬五千四十五にして申込者四萬四千五百四十二合計十一萬九千五百七十七に達せり（同上）

▲兩被告人の保釋 水產會社私消事件の被告鈴木久次郎、原常次郎の兩名は保釋を許され出獄したり

▲倉知局長の歸京 外務省倉知政務局長は用務を了へて本日滿洲より歸京せり（同上）

▲鍋島公使の歸鄉 鍋島新任白耳義公使は昨日鄉里肥前に歸鄉し參內の爲め一先づ歸京の上來春赴任すべし（同上）

桑港電報

▲同盟罷工の好果

布哇に於ける日本人移民勞働者は過般來同盟罷工後耕主側の待遇一變し賃金値上は去る一日より實行せられたるを以て其後不平を訴ふる者なく罷業の結果は却つて良好なる成蹟を得たり（十四日着）

▲白耳義王の危篤

白耳義國皇帝レオポルト陛下危篤に陷らせらる（十四日）

雜報

韓鐵合併と職員

韓國鐵道內地鐵道院に合併の件は近々勅令を以て公布せらるゝ筈なるが同時に現在官制に一部改正を加へ韓國に一管理局を設け現韓國鐵道廳長大屋權平氏就任同時に現在官制中技監一名を二名とし大屋氏を技監とし現在韓國鐵道事務官は同れも參事とし事務官補は主事又は主事補に任命し合併に當り韓國在勤者を內地に召還するが如きことを爲さず依然韓國に勤務せしめ止むを得ざるもの〻外は職員の異動を行はすと

清韓舊債問題解決

清國政府が嚮に韓國に唱へし當時護岸工事經營費として北洋大臣及招商局より數十萬圓を貸與し其後數回に償還を受けたるも尙ほ殘額ありとて本年夏頃在京城馬總領事より統監府へ返還方を迫り來り爾來兩者の間に往復交渉中なりしが漸く完定し元利計算の煩を避けて三十五萬圓打切として解決したり而して該償還資金は昨十四日の官報を以て國庫剩餘金より支出の旨裁可公布ありたれば近日の內受渡を了すべしと

鐵道官制と韓國

服制問題の爲め行惱み居りし鐵道院官制の改正は桂首相大阪より歸任し御裁可を得たる由なれば愈々兩三日の內發布せらるゝ由なるが大屋長官の地位は鐵道に技監を增加し韓國鐵道管理局の長官たることに決定したりと云ふ

●一進會の禍根芟除 政黨としての一進會は寧ろ烏合の集團にして間の輕重を問ふまでもなき事なるが唯だ彼が比較的勢力を占め世人の注意を惹きつゝあるは强烈なる親日派として時勢の潮流に掉し居るが爲めなり而して該會には現に多額の基本財產を有し鞏固なる地盤の上に其黨與を集め居る爲め往々野心家の乘ずる處となり遂に今回の如き常識の軌道を進するに至りたるは眞に惜みても尙ほ餘りあり同會の如きは眞面目に是を指導すれば日韓關係上有力なる連鎖となり平和の保障たらしむるに幾分の價値なる可きに憎むべき小策士等が國家問題の美名を藉りて同會の勢力を惡用しつゝあるは畢竟彼に基本財產なる物資あるが故なり此小策士が集まり來る所以に注意し其禍根を芟除する事最も肝要なり其方法は該財產を以て授產的事業を經營せしめ法定上の財團組織として政治問題に濫用せしめざるに在と某氏は語れり（電通）

●漢城衛生會の成績 七月一日より十一月末日迄漢城衛生會の事業成蹟を得たれば之を左に揭ぐべし

汚物搬出數量	石
糞尿	一三四、四六五、三五四
塵芥	二〇一、三九八、七六〇
溝渠浚渫延長	五八七、七三六間

同上	戶數	人口
日人	一〇、二三七	三四、三三〇
韓人	三八、九八七	一五七、八九〇
合計	四九、二二四	一九二、二二〇

使役人夫延員數	
常傭人夫	八一、二三一人
囚人	七、〇二四人

監督巡査延員數	
日人巡查	三、〇一七人
韓人巡查	六、二八九人

猶右に要したる經費總計七萬三百四二十七錢にして一戶に付き一ヶ月平均二十八錢五厘宛に相當せり

●韓留學生と一進會 在東京韓國留學生を以て組織せる大韓興學會は一進會の提唱に係る日韓合邦に反對し同會の代表者高元勳李豊載の兩名十二日歸京、進會に反對せる新聞紙に同會の宣言書揭載を依賴し尙進んで所謂宣言書を公表せんとしつゝあるを以て十四日兩名を警視廳に召喚し訓諭する處ありたり因みに高、李の兩名は私費留學生なるを以て學部に於ても之れが行動を拘束する能はざるも身を學籍に置く者にして政治に容喙せんとするに就ては相當の處置に出づべしと

●韓人露領移住取締 露國極東局は韓人が續々西伯利亞國境を越へ露領に侵入し來り既に一万五千餘人の韓人チタ、トランス、バイカル黑龍江等へ移往し來るは伊藤公の兇變のため日本政府が一大迫害を韓人に加へんとするを恐れしものか又は露領におけるもの賃金高しといふ考より移往し來れるものなるやは不明なるも兎に角露國政府はこれがため取締に苦心し露帝は黑龍江流域の移往は露人以外にこれを許さずとの決議案を裁可せられたりと露國新聞ロシツオは記載せり

●負褓商團臨時總會 一昨十三日負褓商團なる市商等は其本部に臨時總會を開き會長李學宰以下重立てる會員及全道各支部長等列席し一進會の提唱せる聲明書に同意を表し同一步調を執るに決し之が實行委員に撰定し更に宣言書を作成して一進會へ寄せたりと聞く是れ明かに政治的行動の表現にして官憲の警告を無視せるものなり故に若し事實なりとすれば穩かならざる次第にして當局の取締は彼に厚く是に薄き誹難を招かれざるべしと

●道路改築と地方費 來年度地方費の大部分は道路の改築事業に充用さる筈なるが之が完備を要するは地方行政刷新上一日も忽にす可らざるを以て該事業費の地方費として支辨し能はざる部分は國庫より支給を得る事となれり而して此等地方費を以て經營する事業に對しては年々國庫の補助を仰がざる可らずと當局は希望す

●船舶法と老朽船舶 屢次報道したる船舶法は目下農商工部の手に於て調査中にて略ぼ其の成案も脫稿したるを以て兩三日の內度支部に廻付し兩部協定の上本年中に發表の筈なるが日本にては老朽の爲め船舶檢查に通過せざるものを韓人名義に爲して使用せる者多く隨分危險なるを以て是等老朽船の取締は最も肝要なるべしと

●鎭海灣軍用地買認 鎭海灣軍用地は韓政府より愈々引渡を受け現に經營中なるが近來韓人の常習として濫りに該地帶內に侵入し確實なる所有權を表彰せざるに拘はず處々を指摘して私有地を冒稱する輩續出し一人之を唱ふれば萬人の之に雷同する傾向を生じ經營上不都合少からざる爲め目下之が取締に就き考究中なりと

●韓官々等制度改定 既報日韓官吏共通制度は愈々兩政府間に交涉成立し近く施行せらるべきが現行の韓國官吏官等及俸給制度は共通運絡上不便多かる可きを以て內地同一の制度に改定せらるゝ筈なりと云へり

●高等女學校の將來 京城居留民團立高等女學校は現在百八十三名の生徒を有し居れるが居留民發展の大勢は將來倍々增加の傾向ある爲め曩に民會に於ては一万四千餘圓の建築費豫算を議決するに至れりと云ふ

●學校問題の協議會 京城小學校の增設及高等女學校の移轉問題は學生の增加に伴ふ急要事件なれば今十五日午後六時より議員協議會を開き西大門外砲兵隊營舍跡及南山附屬小學校の二者撰定に就き協議する由

●巡幸記念品と御禮 曩きに下賜されたる西南巡幸紀念物受領者奏任官同待遇以上の者は十六日より十八日に至る午前十時より午後一時迄に仁政殿玄關に於て署名すべしと尙地方にある者は恩狀を奉呈すべしと

●司法官及典獄會議 曩て報道したる司法官及典獄會議は今十五日午前十時より統監府司法廳に於て開催、倉富長官より一場の訓旨ありたる後新裁判所に伴ふ事務の打合せ會諮問事項に就き協議すべしと云ふ

●軍司令官統監訪問 十三日歸任したる大久保軍司令官は十四日午前九時半統監邸に統監を訪問し約二時間に渉り談話し十一時半頃退出

●大臣參與官の會議 參與官會議は昨十四日午前統監府に於て大臣會議は統監邸に於て今日午後一時より何れも定例開會したりと云ふ

●敎習所の卒業試驗 來る十八日より向ふ四日間警察官練習所に於て第五期巡查敎習生六十一名に對し卒業試驗を擧行する筈なりと

●兩大臣の首相訪問 趙農相、高度相は十三日三度に涉り李首相を其邸に訪問し密談する處あり

●漁業調查員の出張 十四日開會の筈なりし免許漁業審查會は都合により延期し十五日午後開會す

韓銀總會の期決定

既報の如く韓國銀行にては愈々明年二月十日頃東京に於て第一次株主總會を開くに決定したりと總會には市原總裁及理事中にて一人出席すべく場所は多分銀行俱樂部なるべしと尙第二回株主總會は明年八月に開會する由

韓銀株券の交付期

韓國銀行の株券は目下龍山印刷局にて印刷中なるが來る四月中に出來五月初旬假領收證引換に株券を交付すべしと

●十一月上旬の貿易 上旬外國貿易關稅局調查に係る者如左

區別	本年分	前年同期
	圓	圓
輸出品價	六七四、三〇四	六九七、九三四
輸入品價	九七、九九五	一、一二四、七四三
台計	一、六五二、二九九	一、八二二、六七七
輸入超過	九七七、九九五	四二六、八〇九

本年貿易額の港別左の如し

本旬分

港別	輸出額	輸入額	計
	圓	圓	圓
仁川	一六二、五八九	二六四、九三四	四二七、五二三
釜山	二三六、八〇五	二三九、七一七	四七六、五二二
元山	四四、八〇二	七七、八六四	一二二、六六六
鎭南浦	九〇、八〇七	九八、三一七	一八九、一二四
京城	—	一二六、一二一	一二六、一二一
群山	八九、七四三	五六、六五一	一四六、三九四
木浦	三三、六九五	三一、一三〇	六四、八二五
馬山浦	二、六七〇	一一、二六四	一三、九三四
淸津	一〇〇	三七、一八五	三七、二八五
城津	八、二三六	一六、一二八	二四、三六四
新義州	四、九〇四	八、五〇四	一三、四〇八
計	六七四、三〇四	九七七、九九五	一、六五二、二九九

次に本年各港の貿易額を前年同期に比較するに左の如し

前年一月以降本旬迄の累計

港別	輸出額	輸入額
	圓	圓
仁川	二、一〇一、〇七四	一六、七八六、三九〇
釜山	四、一四一、四四五	八、五二一、六四一
元山	九二一、一五五	二、七二九、四五五
鎭南浦	一、七九七、〇〇五	二、八六七、七一八
京城	一三、〇〇九	三、三三三、八五六
群山	一、四七九、四四八	八四四、六九九
木浦	七六五、〇八八	五九二、六三〇
馬山浦	三三四、三二七	三四七、八五〇
淸津	二、二三〇	三九八、九四八
城津	二九七、四八四	三五六、五一六
新義州	七九六、〇九八	一、一五九、五四七
計	一三、三五七、四五三	三七、九二八、一五

●韓學童の貯金奬勵 學部に於ては從來各道學校に對し學童の貯金を奬勵しつゝありしが何分父兄が貯金の觀念に乏しきよりさまでの功果を見ざりしが近來に到り弗々貯金を志す學童を見るに至れり過般江華普通學校にて同區裁判所判事臘野良晴氏の寄附にかゝる金五圓にて一二錢切手實紙各百六十六枚宛を需め之を學童に分與したるに成蹟頗る能く競ふて貯金する摸樣あり各學校に於ても通信管理局若くは郵便局と連絡を保ち先づ切手貯金より始めて此風を奬勵せば貯金熱乏しき一般韓人中に傳播するに至る可しと

●本邦貿易輸出超過 十二月上旬の海外貿易は前旬に比し輸出は生糸、製茶、銅、花莚、製帽、眞田等の減退により二割の減少となり輸入は棉花、砂糖、石油等減退のため一割一分の減少となり結局三百二十八萬九千圓の輸出超過にして一月以降の累計に於て千百四十三万九千圓の輸出超過を見るに至り又金銀は二百三十万圓の輸入超過を告げたりと

●各地の穀物價格表

	上級	上玄米	上大豆
仁川	三圓六十錢	六圓八十錢	五圓廿錢
江景	三圓	七圓廿錢	四圓八十錢
群山	三圓廿錢	七圓四十錢	四圓九十五錢
木浦	四圓	七圓四十錢	四圓五十錢
馬山	四圓	七圓八十錢	四圓四十錢
密陽	四圓十錢	七圓十錢	四圓卅錢
海州	二圓五十錢	六圓	三圓七十錢
鎭南浦	三圓	七圓七十錢	五圓七十錢
龍岩浦	四圓五十錢	九圓十錢	六圓十八錢
平均	三圓五十七錢	七圓卅八錢	四圓八十五錢

●輸出品共進會受賞 去月靜岡縣濱松に於て擧行したる東洋輸出品共進會に於て韓國より出品したる件數は五十三點なりしが受賞者三十七名ありしと而して其の出品種目は蕃椒、馬鈴薯、落花生、杞柳、糸瓜、玉葱、大豆及び小豆なりしといふ

●馬山會議所廢止說 平壤商業會議所の廢止せられたる報傳はるや各地の會議所に動搖を來し馬山居留地に於て昨夕同地商業會議所の存廢如何に就いて凝議中なりと云ふ

●防疫者の慰勞會 仁川署長宮館警視は明十六日午後六時より過般虎疫猖獗を極めし際防疫委員として專ら努力せし韓人有志三十餘名及び新聞記者を警察署樓上に招待して慰勞會を催す筈

●愛國婦人會吊意 愛國婦人會韓國本部にては伊國領事介孃が同會贊助員たる緣故にて故領事の葬儀に吊意を表する爲め花籠を寄贈し且つ三浦、津輕外波等の各役員夫人は葬儀に參列せり

●韓人市場開設期 仁川栗木洞の韓人市場開場に就ては其後人夫六十名を督勵して昨今道路の開鑿に努めつゝあれば近く開設の運びに至るべしとなり

●內部官吏茶話會 江坂主事平安南道に赴任に就き之が送別を兼ね茶話會を十四日午後五時巴州亭に開き地方局全員出席平渡武藤兩氏の視察談あり

●淸水支店長輕快 病氣の爲め鎌倉長谷二百五番に轉地療養中の淸水十八銀行京城支店長は此程に至り漸く輕快に赴きたるを以て來春歸韓すべしと

●惡郡守等の免官 瓮津郡守鄭泰德及び牙山郡守鄭翰朝は懲戒免官となる

在留民酒の飮高

淸韓方面の輸出は最初山口、長崎の兩縣より堺酒を輸出し次で九州酒の輸出せらるゝあり當時灘酒の如きは內地の需要に追はれ殆ど輸出を顧みる暇なかりしが近來釀造高の增加と共に益々販路の擴張に努め餘勢淸韓方面に羽翼を延したるが爲久しく同方面に於て信用を保持せる堺酒は忽ち打擊を被り漸次販路を蠶食せられんとする傾向を示し來れば爾來之に對する防禦策を講じ從來の特約店の外支店を增設し一方其品附其他の商略を以て極力應戰に努めたりと雖も品質上到底灘酒の敵にあらず且灘酒は破竹の勢ひを以て猛進せるが爲漸次之が壓迫を受け目下堺酒は滿洲方面を除く外需要著るしく減少せり又九州酒の如きも大體內地より割高に賣れ行くものから專ら輸出に全力を傾注し堺酒と輸贏を爭ひ居たる折柄更に灘酒の勁敵現れ是れ亦少からざる打擊を被りたりと雖も尙從來の經驗に依り屈せず更に價格の引下を斷行し以て之に對抗し互に販路の爭奪益激甚を加へ今や淸韓市場は三酒鼎立恰も混戰の狀を呈せるが結局或は品質の良好なる灘酒の凱歌を奏するに至るならんか之が爲め堺酒の如きは見代りとして昨今東京に於ける勢力を注げるもの〻如し目下淸韓方面に於ける勢力順は左の如くなりと

京城及釜山	灘酒、九州酒、堺酒
仁川方面	灘酒、堺酒、九州酒
平壤方面	九州酒、堺酒、灘酒
鎭南浦及群山	灘酒、堺酒
滿洲方面	堺酒、灘酒

而して本年一月より十月に至る同方面の輸出額は韓國二萬千十石、淸韓四千三百八十五石にして前年に比し韓國にて千二百九十五石淸國にて千八十五石を增加し中灘酒の十一月迄に輸出されたるものは韓國七千三百十四石淸國五千六百四十二石にして前年に比し韓國二百廿七石淸國四百八十石を增加せり

●所長檢事正の入城 海州地方裁判所長西平、同檢事長青木幹造、公州地方裁判所長勅使河原健之助、同檢事正岩田孝慈、晉州地方裁判所檢事正關口半、大邱控訴院檢事長黑川稔、大邱地方裁判所檢事長北村五七郞、光州地方裁判所長玉置璉氏の各司法官は一昨十三日何れも入京したり

●高度相の華甲賀品 高度支部大臣の還曆を祝する爲め度支部に於ては日韓高等官間に於て華麗なる銀製花瓶一對を贈呈する事に決し漢城美術品製作所に托し調製せし所十三日既了出來揚りしに就き十四日右一同の名を以て高度相に贈呈したりと云ふ

●漁業審查會の延期 農商工部水產局にては漁業出願に對する第三次實地調查の爲め全羅、慶尙、忠淸、京畿、黃海の各道へ今年末を期限として局員十六名を各方面に出張せしむる豫定にて何れも兩三日中に出發す

●農林學校新設計畫 目下技術官會議に參列の爲め滯京中なる中央農會群山支會長三浦技師は十三日學部に俵次官を訪ひ群山に農林學校新設の建議書を提出したるが豫算確定後に非れば決定を見るに至らずと

●市原韓銀總裁歸着 平壤韓銀支店の開業披露宴に臨席の爲め同地へ出張せし市原同總裁は昨十四日午后十時二十分南大門着列車にて吉田秘書役を隨へ歸着したる筈なり

●兒玉書記官の歸東 今期議會に政府委員に任命さるべき統監府書記官伯爵兒玉秀雄氏は來る二十七八日頃當地出發東上すべしと云ふ

●各地典獄等の入京 海州監獄典獄古垣宗次郞、公州監獄同芋川正義、光州監獄同松村政記、大邱監獄同神尾虎之助氏等は十三日入京す

●大邱韓銀支店披露 韓銀大邱支店は來る十八九の兩日開業披露宴を開く由にて市原總裁臨席の筈

●武田機關少將歸朝 海軍機關少將武田秀雄氏は十三日出發鐵路釜山を經て德山に向け歸朝したり

●戶來技師の出發 勸業模範場大邱出張所技師戶來秀太郞氏十三日水原へ

●西村主一氏退京 鎭南浦居留民團長の同氏は昨十三日出發歸任したり

●伊集院中佐下仁 海軍中佐伊集院俊氏は十三日出發して仁川へ向ひたり

●織田雄次氏出發 入京中なりし第一銀行員氏は十三日出發平壤へ向へり

●高津友保氏歸任 慶尙南道晉州觀察道主事の氏は十三日出發歸任したり

▲治外法權▼

寒氣が增すに從ひ曾禰統監の宿痾が段々惡い方へ向ひて今の分では來月初旬の上京は到底覺束無かるべしと云ふ者がある▲統監の病氣程不思議なものはない侍醫は疾つくに全治して居ると云ふに御本人は相變らず病蓐に在らる〻、扨々此先ドーなるものやら▲韓政府出仕の邦人官吏と內地の官吏とを共通にするとの愚論が愈實行せらるゝことゝなつたツーだ、本紙過日の社說で其愚論たる所以を闡明した通り如何に共通にしたからと云ふて朝鮮氣質の浸込んだ人達に窮窟な內地の官吏が勤まる者か、はたで餘計な世話をするより當人共に小金でも溜さして高利貸でもさせるが一番良い▲仁川の築港運動も今度は方面を變へて東京でやることになつたツーだ、政友會では鐵道でも築港でも何でも受負ふツーだから之へ一トツ頼んだら良かろー、只如何にせん幾ら多數黨の政友會でも內地の豫算を割いて仁川に持つて來る程の放れ業は出來まい▲追々大晦日が近くなつて債鬼擊退の新案が必要になつて來た、記者は催眠術の心得があるから斯術を債鬼共に施し只に舊債を消させるばかりでなく都合に因つては彼等の財布迄取揚げて結搆な新年をやる積りだ。

吉凶鏡 本町五丁目 三一館判斷

[illegible]十一月三日 一白 先勝 己 [illegible]人より非理の言を受[illegible] 紛失[illegible]べし△二黑●● 我意の强行により誤りあり三省すべし 金品授受の上に注意すべし△三碧●● 紛議解決には適當の日なり散財注意すべし△四綠●● 旅行取引取組談合等良好[illegible]べし△五黃●● [illegible] 注意すべし損害間違起り易し△六白●● 名弘め開店開業相談等効果を得但し不和衝突避くべし△七赤●● 他人の[illegible]を蒙るあり其他盛運の日なり△八白●● 爭[illegible]を濫觴する勿れ△九紫●● 非常の注意と努力を以てせば不測の成効ある日なり

▲取消●● 本月十二日發行貴社新聞第二百八十六號雜報欄內「[illegible]裁」と題する記事掲載有之候處右は全[illegible]申入候也

明治四十二年十二月十三日 京城北部三清洞十一統八戶 閔泳綺

京城新報社御中

●天氣豫報（自十四日午後六時 至十五日午後六時） 晴

十三日（華氏） 最高溫度 二九、一 最低溫度 二〇、六



歳末歳始の進物（上）

▲適當品と其價格

我國の年中行事の一として歳末歳始に際し洽く親戚知己の人々へ互に物品を贈答するの美風（？）は廣く全國に行はれて居る。これは虚禮の様であるが決してそうで莫いのである。今年も早や餘す處僅々一週間に過ぎず

た高祖頭巾を目深く覆ふて世話女房の市に晩歳や新春の支度買物をなし商家の丁稚の注文取りに華客先きを驅け廻り行き通ふ人々の何となく物騷しく往來しつゝあるを見ても人は新春を向ふるに忙しく年の暮るゝのを忘れてゐる様な觀がある。記者は讀者諸君の利便を圖つて昨日本町通りの目ぼしき商店●三越、●龜屋、●辻屋、●鳥類問屋等を歴訪して進物適當品と其價格とを聽いたから茲に御紹介する事とせん

▲高尙なる進物　近來の贈答品は一時の見榮よりも寧ろ永久的紀念になる様なものを歡迎せらるゝ傾向ありて商店等も此趣向に應じて調製しつゝあるが中以上の家庭の進物用としては旅行用品として無地又は型付の革製手提袋等最も適當なる可く價格は六圓より十圓位なり亦近來需要多き白毛布も妙ならん色合は駱駝及び鼠などぽつ〳〵流行するの傾向あり、婦人向きなれば羽織紐背掛をはじめとして化粧品としては、佛國キセロル會社製最も高尙にして令婦人間に喝采を博しつゝあるが其價格は頭髮用香水一瓶一圓、洗面用香水七十五錢、粉白粉一箱七十五錢位なり

▲實用向き進物　實用向きとしては其範圍極めて廣く普通のものは煙草にしてエジプト産の金口百本入價格一圓二十錢より一圓八十錢位なる兩切は二圓乃至三圓位なり。洋酒の部では佛國赤葡萄酒一打八圓五十錢同白葡萄酒一打十一圓位なり其他ウヰスキー、ブランデー、朝日ビール等も可なり而して之等大賣捌元なる本町龜屋、辻屋、青木堂等に新

荷落山到着せる故戦て注文せらる可し

八千代ざワン公

▲七つの歳から天津に往く　▲支那人は彼女の好む處　▲元錦、櫻櫻州女郎懷胎

鬼の首を取つたと云ふので名高い仁川淺岡樓の八千代は戀しき鬼さんは釜山へ轉り、横山さんは頭を横に振り、さて秋田の黑さんは時候遲れて秋風を吹かせ大節季を目睫に控へて二進も三進も附かぬ處から豫ねて同地の支那人ワン公が兼て同妓に懸想せるを幸ひ此程遂に嬉れしき契りを結びたりさて元來此のワン公と云へる男は別に好男子と云ふには非らざれど日本語を巧みに操り、英語や韓語も少々は解する處から同地某貿易商に雇はれ常に税關に出入して少なからざる金錢を儲け之れを持つて日夜花柳の巷に出入し仁川はおろか京城龍山邊にてもワンさんと云ば遊廓淫賣屋では殆ど其名を知らざるものなく、其癖せ彼れは有名なケチン坊なれど何爲金を懷ろにして居るものから中々持てる事も人通りで無い、曾つて敷嶋遊廓は朝日樓の信夫と云ふ女郎と深くなり當時是等仲間では大評判となりしが多情のワンは其後當地新町第一樓本店の櫻州事山形つねに現を拔かして繁々通ひし結果トウ〳〵櫻州を落籍して仁川に連れ歸り本妻と同棲せしめ服裝から髮形、さては耳輪迄スッカリ支那婦人に仕立て居れるが此頃に至り彼れ櫻州のつねはワン公の胤を宿し今は支那服の袖にては到底隱し切れざるまでのホテ腹を抱へ居れりと、さてもワン公は本妻と櫻州の二人ではまだ物足らぬと見へ近來にては淫賣や、女郎は面白くなしと乙に向上心を起し店出當時より評判高き淺岡本店の八千代に懸想し屢々口説寄りしも當時八千代には三人の弗函ありしためニラ臭きワン公には見向きもせざりしが昨今八千代の不境と共に執念深きワン公は大枚五十圓と云ふ枕金を餌に濱町邊の某料理屋で目的を達したるはつい此間の事なりとか、八千代と云へば屢々三面子の厄介になる代物で生れは長崎の島原近邊で七つの年天津に渡り同地にて舞妓より仕込み上げられ當年十九歳の其春まで支那人八分日本人二分の中で採上られた所謂滿洲藝妓なればニラ臭き支那人は日本人よりは却つて親切なりとて大に彼れの好む處なりとか一時は飛ぶ鳥を落すと迄は行かざるも屋根の鳥をガーと泣かす位ひの人氣はありし八千代も容色てう十八並みを下らざれ齡に至つては殆どゼロと云ふ處へ搗てゝ加へて色餓飢と異名を受けしワン公の玩弄物となりしとの評判パッと立ちし爲めドウやら不の字になり掛けたと箱屋の政公迄が話て居るとかさるにても二世を契りし龍山のアノ人の耳に入りなば一層八千代の愁ひは增し來るならんと噂が盛を

仁川宮町の出火

▲白晝の大混雜　▲漸くにして類燒を防ぐ　▲藝妓三味線を抱へて狼狽

昨十四日午前十時三十分仁川宮町二丁目裏通り釘宮喜十郎方より發火し折柄の西風に火勢愈々猛烈を極め殊に同町は一昨年大火に嘗め盡されたる處とて如何なる大事にや至らんと人々安き心も無かりしが白晝の事とて消防夫警察官等逸早く驅付け全力を注いで消防に盡力せし結果同十一時過ぎ僅かに火元一軒を燒き盡くしたるのみにて鎭火するに至りしが同家の隣家は榮亭と云る料理店にて多數の藝妓を抱へ居れるが午前十時過ぎと云へばまだ彼等の夢醒めざる折柄とて其狼狽一方ならず友染の寢卷を着たる儘三味線を提げて右往左往する様の氣の毒にも又憐れなりし火災の損害は未だ取調中にして判明せざるが原因は二階の炬燵より起りしものならんといふ

恩人の妻に强姦沙汰

▲仁川驛梅院内に於て

一昨日の午后六時頃仁川花町二丁目驛梅院内鈴木茂吉の不在中同人妻トヨ一人にて留守番を爲しつゝありたるに岩崎外根藏と云へる曾て鈴木の厄介に爲り居たる惡漢は短刀を所持して闖入し脅迫がましき文句を列べたる上右トヨを手込みにせんとしたるが近隣の人より此訴に接し仁川署より警官出張せし際は既に同人は行衛を晦まし居たりしにぞ目下捜索中なりと云ふ

●韓人八名の漂着　韓國江原道一外七名は百六十石積み位ひの帆船へ乘り同平海郡南下面南山洞居李晙昌五郡延日浦より平海郡原里浦へ航行中去月二十四日暴風に遭遇し船体破壞し廿七日朝迄海上を漂流せしを島根縣久保濱の漁船に救助せられ同地に上陸し同縣益田警察署の保護を受け同署の巡査部長一名は去る十一日夜下關市役所へ引渡し十二日夜出帆の關釜連絡船にて釜山へ送遞したりと

●亂暴な米商人　仁川長砂里居住の柳明西は嚢に牛角洞の米商李得昌の仲介にて平洞の兪致寔と云ふに白米六斗を賣却したるが斗量が滿たざりしとて仲々代金を支拂はず其上賣主の桝を一昨日毆打せしにぞ其筋に訴出で説諭さる

●追吊活動寫眞會　赤十字社愛國婦人會兩本部は今十五日明十六日午後六時壽座に於て伊藤公追吊の爲め活動寫眞會を開催する由なるが何分多數の社員會員なるを以て初日滿員の際は翌晚参會を請ふの外なく又参會者は必らず同徽章佩用の上通知狀の持参を要する由なり

●仁川の野犬撲殺　仁川港に於ける一昨日の野犬撲殺數は八頭にして尙今後野犬の撲滅を期すべしと

●歌舞伎座　娘芝居は頗る好評なるが今夜藝題は壽式三番前狂言義經千本櫻大切傾城阿波之鳴門ざんどろ大師れ弓れ鶴別の場にして役割左の如し小欣吾、梶原、忠信、キヨト作、れ鶴（琴時）權太、藤太、明林、小花（捕手村上、庄屋、婆々、茶亭、綱次）捕卷、御臺、家來（綱次）家來（吉佐）諸士（吉松）仕出し（花子）同（小なつ）若君（梅太郎）豬熊大之進、之盛、明珍（竹三郎）善太、狐（政子）家來（きよ次）同（梅子）仕出し（家來）吉次）同同（八重子）家來、諸士、仕出し（小梅）尼君、彌左衞門（鐵三郎）小仙、れ里、部、れ弓（吉三郎）

各地の新聞

▲丸善書店の燒失　十日午前四時卅分東京日本橋區三の一六合名會社富田洋服店三階の仕立場より出火兩隣の丸善株式會社書籍部同洋物部假營業所に燃移り尙も風下なる同町醬油商渡邊厚之助一六八力車業岸本屋事三在同魚商佃竹□飯田喜八及び數寄屋町一六料理店伊豆屋事渡邊周吉の八戸を全燒し尙同町一七旅館浪華舘下村平三郎外二戸を半燒して同五時五十五分鎭火したり損害總額二十餘萬圓

▲冒險世界の主筆　押川春浪氏は九日午後一時頃大隈伯邸よりの歸途東京牛込區山伏町の往來にて同町左官職鈴木福五郎が入浴に行くのと出會頭に喧嘩を初め取組合を始め陸軍中尉渡邊眞氏の仲裁を斥けたる爲め牛込署へ引致さるゝ途中春浪氏より示談を申込みたるより說諭にて事濟みたるが同雜誌一月號には初號標題で『主筆兇漢と組打す』と書かれるか何うだか

▲小學校舍の崩壞　建築中なりし長さ四十一間與行五間の佐賀縣南松浦郡魚目村若常高等小學校は去月二十九日の暴風の爲め無殘に崩壞し損害約一萬圓に上るといふ

▲過て實子を殺す　神奈川縣中郡神田村字横内農兼車夫業石井國太郎妻とよ（三一）は十日午前七時頃長男愛次（八つ）と共に朝飯を喫し居たるが鷄入り來りて庭に置きたる糀を啄み居れるを見其を追ひ散さんとて有り合せたる火鉢より火箸を拔きて投げ付けし死手先狂ひて枠愛次の右耳下に突き立ちし爲め同人は即死を遂げとよは過失殺傷罪として伊勢原分署へ引致されたりと注意すべき事なり

▲大坂市役所の紛亂　昨紙報道せる大坂市役所書記其の他が共謀して北區大火罹災民に寄贈したる物品を掠め酒色の資に供し居たる件は取調べの進行に伴れ事態益々重態となり山下市長が警察部長を訪問して穩便にと懇請は斥けられ火の手は杉山電氣課長に及び今後如何に成り行くか目下の所不明なるが本事件の曝露に伴ひ市役所内の暗鬪醜聲遺憾なく發揮せられり

▲無理心中の失敗　呉市朝日遊廓第二福井樓の技丁廣島城下豐田郡瀬村佐村金雄（三一）は同遊廓第二東京樓抱へ娼妓清子事同縣下阿佐部八木村田村わか（二三）を買ひ馴染み無理算談の七所借りに不義理も出來首も廻らず一そ清子を殺して自分も死出の旅に赴かんと十一日夜七時頃出刃とナイフを携帶して何氣なく登樓し昨朝五時ごろ曉の心持ち能く夢路を辿る清子の咽喉元を出刃庖丁で一抉り急所の痛手に女はそのまゝ絶息したる樣子を見届けて今はこれまでと金雄はナイフを以て自ら咽喉を突き切り七顚八倒苦悶の最中死んだと思ふた清子は痛みを堪へて起上り急を樓主に告げたれば樓內の大騷動となり金雄は直ちに謀殺未遂犯として廣島地方裁判所より判檢事出張取調べ中なるが兩名とも生命には別條なく清子は同地の病院に收容加療中



吉　区　人　鍼　本町五丁目、三一舘物詞

我意の强行により誤られ三省すべし注意すべし損害備逮起り易し△六白　金品授受の上に注意すべし△三碧　紛名弘め開店開業相談等效果を得[illegible]紛解快に良縁[illegible]和を講ずべし△七赤[illegible]△一白　人より非理の言を受[illegible]し△四綠　旅行取引取組談合等良好[illegible]△二黒　厄水損毀るべし△五黄　貸貨貸借典當論を慎しみ些少の事端より[illegible]

本月十二日發行京城新聞第二[illegible]城北部三清洞十一統八戸閔泳綺　京城新報社御中

●天氣豫報（自十四日午後六時至十五日午後六時）
晴
十三日（華氏）　最高溫度　二九、一　最低溫度　一〇、六

美備半衿帯上帯締其他紐類各種

京城本町一丁目 ゐり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所
●求職 昨今渡韓の青年拾九歳事務員又は商家に雇れたし氏名在社（四九〇）
●望勤務 病院又は醫院藥局へ ケーヂー生（四九三）

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯取付家賃面談 氏名在社（四七八）
●貸家 北部齋洞廿九の四貸家あり宮内府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ賄差上候
●貸家 京城吉野町間數四間湯殿付官吏又は會社員向希望者は電七四番へ
●貸家 吉野町日本式に改築三間押入一間半水道風呂炊事場あり家賃十一圓 氏名在社 四九五

廣告

龍山元町二丁目 佐藤病院 電話一〇三番

大勉強 理髪 長崎床 龍山榮町民團役所下四ッ角 塚田

龍山榮町 歐米新式高等裁縫 田口洋服店 電話三一二番

龍山若松町 島崎鐵工場 電話四四一番

入院隨意 龍山新市街山下町 内科 小兒科 眼科 原醫院

龍山老松町 陸軍諸官衙御用達 建築土工請負業 磯口商店 電話一一九番

公告

今般肩書地に代書事務所を開設し熱心誠實且つ迅速を旨とし左記の業務に從事致候 追而日語精通の韓人事務員を雇入日韓人間の交渉事件は無論韓人相互間の事件たりと雖も遺憾なく圓滿に取扱可申候

業務項目
一 民刑事訴訟に關する書類の作成並に法律上諸般の質疑應答
一 土地家屋證明登記申請書類の作成
一 不動産登記申請の書類作成
一 土地家屋賣買並に金錢借貸の仲介
一 會社定款の作成並に諸契約類の立案

京城鐘路通り地方裁判所東側小路 北野安五郎事務所



神戸資生分院 京城相生町（南門湯横） 京城梅毒病院
◎花柳病專門並、痔（注射療法）
●入院隨意● 院長 醫學得業士 蘆田耕平 （電話一二九四）

原料直輸入廉價調製各種木形新着
弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは嶄新の粹を集め常に諸彦の御滿足を得候地方は御一報次第店員を派し
●見本帳御送附可仕候
深ゴム靴 特價 六圓五十錢
アミ上靴 五圓五十錢
淺ゴム靴 五圓十錢



東京 北村支店 京城本町一丁目（郵便局前） 店主 礒部廣吉 謹

きゝめのある 温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一 かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

京城本町一丁目郵便局前 貸席 鐵冷温泉

新漬大根大賣出
◎新漬澤庵◎白菜漬◎奈良漬
官製鹽元賣捌。農蠶器具一式。肥料。種苗。薪炭。日用雜貨。家具。工業農業消毒用藥品一式。農商工部園藝模範場御下品
諸官衙御用達 京城本町一丁目（長谷川町筋） 三輪商會 電話三八六番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
辯護士 岡田榮 京城旭町一丁目六十七番戸 （電話三九八番）

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
卸問屋 京城明治町一丁目四ッ角 唐川商店 電話二六一番

擴張廣告
今般拙者有名なるソンタクホテルの跡を引き受け改良に改良を加へ精々勉强仕候宴會其他の準備も整へ居り料理も御望に依りては至極廉價を以て調進可仕候何卒御遊旁々御高來の程切に奉願上候
京城貞洞 ソンタクホテル 主人 ジ、ボエル 電話七三九



入院隨意 内外科 小兒病科 梅毒淋病院 院長 陸軍軍醫正 高井貞治 京城壽町三丁目 高井醫院 電話（二一六）

馬車配達
●滋養と牛乳● 純良牛乳 ●衛生と消毒● 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番

折箱製造元 京城明治町一丁目五十番戸 漢城病院下ヘ入ル 箱信事 鳥山商店



焦心窒志多年爲斯道於難微義奥旨恍然似有得者匪敢膨脹誇衒茲掲揚耳 易斷觀相教授 京城本町五丁目 土御門派大陰陽師 館主 三一館

東京 海上 運送 火災 保險株式會社
明治卅年七月創立● 資本金一千萬圓●
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番



京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島卑藏 （電話四百十二番）

胃膓消化新劑
澱粉消化劑 ヂヤスタリン 錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢 散劑一オンス入（一瓶）一圓二十錢
蛋白脂肪消化劑 グスチンヂ 錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢 散錠一オンス入（一瓶）二圓四十錢
右は最近内地に於て急激の需用を來したる名聲嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候 各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目 原金旅館 （電話一一一五番）

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
和洋酒、（の）精酎、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、壇辛、日本食鹽各種特約販賣御望に依り商品切手調進仕候
京城本町五丁目 大上商店 （電話二五一番）

開業祝として一割引
かいき・まわた
進物用眞綿眞綿製防寒具類
京城代理店 京城本町一丁目（長谷川町へ通る） 栗永商店

處方調劑の依賴に應す
京城南大門通三丁目 藥劑師 新井藥房本店 小松禎三

京城明治町二丁目（佛國教會前） 辯護士 特許辯理士 岩田仙宗 電話三五四番

蒸溜 牛乳 消毒 京城 平山牧場 本町一丁目 電話一三三

入院隨意 京城壽町三丁目（電話三七八番） 中島醫院 院主 醫學得業士 中島貞信

入院隨意 京城西小門通六番戸 菅醫院 電話改番 一三一五



株式會社 十八銀行 京城支店 京城南大門通 （電話四二〇）
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

本店 長崎市築町
支店 出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐、
韓國 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羣山、羅州
日本 其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 （利息日歩壹錢四厘）一口壹錢以上何程にても御預り申候
長崎貯蓄銀行代理店 （十八銀行京城支店）

★株式會社百三十銀行 韓國總支店 京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、郡山、岸和田、御影、兵庫、神戸、貝塚、平野
東海道 住吉、茨木、下市、名古屋、宇田、熱田、四日市、津、靜岡、東京、横濱、大磯、甲府、山田、桑名松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、藤島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 大聖寺、富山、伏木、新湊、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、綱干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、洲本、撫養、徳島、善通寺、丸亀、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告 仁川電話十番
仁川海岸通 電話三九番 貨物及船客取扱店 郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 十二月十九日後三時出
●大連、太沽行 高砂丸 十二月廿一日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三日午前六時出
●大連行 酒田丸 一月三日正午時出
●釜山出帆 元山、浦潮行 神丸 十二月廿九日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事